

天童市立天童中部小学校 PTA 安全交流部（山形県）

山口 皆さん、こんにちは。我々は山形県のさくらんぼで有名な天童市より参りました。天童中部小学校 PTA 会長の山口と、副会長の伊藤でございます。本日は大変貴重な機会を頂きまして、本当にありがとうございます。

我々は4年前から、子供たちがより安全に、そして安心して暮らせる街づくりの基礎になるような活動に取り組んでまいりました。こちらの事例をこれから発表させていただきますので、何かヒントになることがあればお知らせいただければと思います。

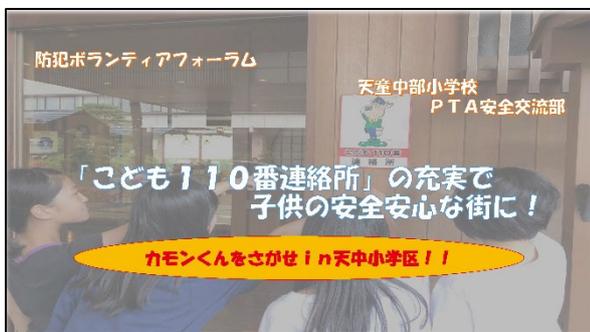


それでは副会長の伊藤が発表します。よろしくお願いいたします。

活動地域

伊藤 皆さん、こんにちは。ただいま御紹介がありました、PTA 副会長をさせていただいている伊藤と申します。私達は「こども 110 番連絡所」に関することを発表させていただきます。よろしくお願いいたします。

私達の活動地域は、将棋の駒と温泉の街として知られている、山形県天童市の中心部で、一般住宅のほか、商店街、温泉街、公共・文化施設、駅などがある中心市街地です。



団体概要

団体の概要としましては、私達の団体は天童市立天童中部小学校の PTA 専門部会の一つで、保護者と先生の約 30 名が活動をしています。「地域とつながる活動をしよう」と、平成 27 年にそれまでの PTA 専門部会を再編成して誕生しました。以来「こども 110 番連絡所」を通じて、地域・学校・保護者が一体となった子供達の安全・安心を守る活動を展開しています。

ちなみに、表示している山形県の「こども 110 番連絡所」の看板ですが、キャラクターは「カモンくん」と呼ばれています。子供たちも「カモンくん」というのを認識して、連絡所として把握しています。

2 団体の概要

私たちの団体は、天童市立天童中部小学校の PTA 専門部会の一つで、保護者と先生の約 30 名が活動しています。"地域とつながる活動をしよう！"と、平成 27 年にそれまでの PTA 専門部会を再編成して誕生しました。以来「こども 110 番連絡所」を通じて、地域・学校・保護者が一体となった子供たちの安全安心を守る活動を展開しています。



カモンくん

山形県のこども110番連絡所の看板

活動内容

活動内容は(1)「こども110番連絡所」を設置している方への訪問と新規設置の依頼。(2)「カモンくんをさがせ」の開催。山形県警察マスコットキャラクター「カモンくん」が描かれた「こども110番連絡所」のプレートを親子で歩いて探すイベントです。(3)広報紙の作成、配布。(4)ネット・スマホ安全安心講座の開催。

活動頻度としては、4月から7月頃に「こども110番連絡所」を設置している方への訪問。8月頃に「カモンくんをさがせ」、「ネット・スマホ安全安心講座」の開催。9月から12月頃に「カモンくんをさがせ」の実施結果のとりまとめ、その結果を受けての「こども110番連絡所」への訪問。1月から3月頃が広報紙の作成、配布となっています。

3 活動内容

- (1) 「こども110番連絡所」を設置している方への訪問、新規の依頼
- (2) 「カモンくんをさがせ」の開催
山形県警察のマスコットキャラクター「カモンくん」が描かれた「こども110番連絡所」のプレートを親子で歩いて探すイベント
- (3) 広報誌の作成、配布
- (4) ネット・スマホ安全安心講座の開催

4 活動頻度

- ・4～7月ころ
「こども110番連絡所」を設置している方への訪問
- ・8月ころ
「カモンくんをさがせ」の開催
ネット・スマホ安全安心講座の開催
- ・9～12月ころ
「カモンくんをさがせ」の実施結果のとりまとめ、その結果を受けての「こども110番連絡所」への訪問
- ・1～3月ころ
広報誌の作成・配布

課題

課題として、地域との連帯感が希薄化する中で、学校・保護者・地域が一体となって、子供達を地域全体で守る意識付けが必要と感じていました。そんな折り、地域ぐるみで子供達を犯罪被害から守る仕組みである「こども110番連絡所」が学区内に約110か所設置されていましたが、保護者の大多数が「こども110番連絡所」を知らないという実態が判明しました。また、設置場所にどんな人が住んでいるかの確認や「こども110番連絡所」のプレート更新等が行われず、「こども110番連絡所」が形骸化していました。

5 課題

地域との連帯感が希薄化する中で学校、保護者と地域が一体となって、子供達を地域全体で守る意識付けが必要と感じていました。

そんな折、地域ぐるみで子供達を犯罪被害から守る仕組みである「こども110番連絡所」が学区内に約110箇所設置されていましたが、保護者の大多数が「こども110番連絡所」を知らないという実態が判明しました。

また、設置場所にどんな人が住んでいるかの確認や「こども110番連絡所」のプレート更新等が行われず「こども110番連絡所」が形骸化していました。



部会の様子



課題の解決に向けた取組方策

課題の解決に向けた取組方策です。(1)「こども110番連絡所」設置者への訪問。こちらに関しては、部会の保護者とお子さんが設置者のところへ全戸訪問という形でやっています。訪問時には「カモンくん」の看板や、周りの草木の状況、設置されている状況、あと、実際に子供目線でも見つけやすいかということも併せて確認作業を行っていま

6 課題の解決に向けた取組方策

- (1) 「こども110番連絡所」設置者への訪問

「こども110番連絡所」の設置状況を確認するとともに、引き続き設置にご協力をしていただくため、学区内すべての「こども110番連絡所」設置者を訪問しました。



看板の様子

訪問時「カモンくん」の看板の有無や、損傷具合、子供目線でも見つけやすいか、あわせて確認しています。

す。

(2)「カモンくんをさがせ」の開催。こちらに関しては、全児童とその保護者を対象にやっています。保護者と児童に「こども110番連絡所」そのものを知ってもらうとともに、その設置箇所を把握してもらうためのイベントを開催しています。ポケモンGOをヒントにして、ウォークラリーのように親子で楽しみながら、「カモンくん」の看板を探してもらいました。その際にこういったアンケート調査という形で、ちょっと用紙が見えにくいかもしれませんが、子供たち、親たちを含めて、こういった文書を発行しています。開催時期は夏休みになっていますが、夏休みの課題の一つとして親子で取り組んでいただくような形になっています。

(3)アンケート調査の実施。「カモンくんをさがせ」を行う際、カードを配布してアンケート調査をしました。カードには児童・保護者からの感想のほか、「通学路」「自宅の近所」「よく遊ぶ公園の近く」のそれぞれの場所で、カモンくんを見つけた数に応じてレベル分けして提出してもらい、認知度の調査をしています。2か所以上、見つけた場合は「安心レベル」、1か所見つけた場合は「やや安心レベル」、1か所も見つけられなかった場合は「心配レベル」ということで、こういった形で色分けをして提出していただいています。

そして、このアンケート調査を生かすということで、アンケートを集計する際に、地域ごとに部会の者が分かれまわって、新たに「こども110番連絡所」の設置が必要と思われる箇所を洗い出した上で、新規の設置場所を選定しています。設置場所も、ただ数を増やすだけではなく、本当に必要な箇所を選定した上で進めるようなやり方でやっています。

その中での保護者の声です。「今まで、看板の存在には気付いてはいたけれども、何のためのものなのか分からなかったのが、よく理解できた」「通学路は安心だったが、不安な箇所を子供たちと一緒に話し合いをしながら見つけることができたので良かった」「雑草で隠れていたカモンくん、お店の方が草取りをしてくれて、道路からも見られるようにきれいにしていただきました」「『カモンくんをさがせ』を通して、子供と話したり、考えられて、防犯を改めて考える

6 課題の解決に向けた取組方策
(2) 「カモンくんをさがせ」の開催

保護者と児童に「こども110番連絡所」そのものを知ってもらうとともに、その設置箇所を把握してもらうためのイベントを開催しました。

「ポケモンGO」をヒントに、ウォークラリーのように親子で楽しみながら「カモンくん」の看板を探してもらいました。



実施の様子

6 課題の解決に向けた取組方策
(3) アンケート調査の実施

学校の夏休み期間中に開催し、課題の一つとして取り組んでもらいました。暑い中ではありましたが、みんな頑張っており取り組んでいました。

カードには児童・保護者からの感想の他、「通学路」「家の近所」「よく遊ぶ公園の近く」のそれぞれの場所で「カモンくん」を見つけた数に応じて、レベル分けして提出してもらい認知度の調査をしました。



2箇所以上みつけた場合
安心レベル

1箇所みつけた場合
やや安心レベル

1箇所も見つけられなかった場合
心配レベル

6 課題の解決に向けた取組方策
(3) アンケート調査の実施

☆ アンケート調査結果を生かす ☆

- アンケートを集計する際、地域ごとに分けて、新たに「こども110番連絡所」設置が必要と思われる箇所を洗い出した上で、新規設置箇所を選定しています。設置箇所数をただ単に増やしていくのではなく、本当に必要な箇所に設置するように心がけています。

☆ 「カモンくんをさがせ」の自由意見 ☆
— 保護者の声 —

- 今まで、看板の存在に気づいてはいたが、何のための物なのか分からなかったのがよく理解できた。
- 通学路は安心だったが、不安な箇所を子供たちと一緒に話し合いをしながら見つけることができたのでよかった。
- 雑草でかくれていたカモンくん、お店の方が草取りをしてくれて道路からも見えるようにキレイにしてくださっていました。
- 「カモンくんをさがせ」を通して、子供と話したり考えたりできて防犯を改めて考えるいい機会になりました。

いい機会になりました」。

併せて児童の方の声です。「通学路にたくさんあって、通学班長としてみんなを安全な場所に連れていけるので安心した」(6年生)。「お散歩みたいで楽しかった。カモンくんがいろいろなところにいると思った」(2年生)。「疲れたけど、見つけた時は嬉しくなった」(1年生)。「公園の周りに少なかったので、遊ぶ時は気を付けようと思った」(4年生)。

(4)合同研修会の開催。「こども 110 番連絡所」の設置者にその役割を再認識していただくためと、私達が行き届く「こども 110 番連絡所」の推進活動への理解と協力を得るために、設置者の方たちとの合同研修会を開催しています。研修会には警察署の職員の方に来ていただいて「こども 110 番連絡所」について、分かりやすく説明していただきました。併せて、設置者の方々との意見交換会を行いました。

やはり今まで親の世代で、おじいちゃん、おばあちゃんが「こども 110 番連絡所」にはなっていたけれども、家庭の事情の変化で「どうしてもできない」となって、お子さんの世代に切り替わった場合に、看板はあるけれども、結局、お子さんの方、次の世代の方が全くその内容が分からないまま設置されていることが結構ありましたので、こういった研修会をさせていただいています。

この合同研修会を通しての話ですが、設置者の方から「新規設置者を探す際は、町内会にも話をしてもらえると、個人宅の動向などもつかめて見つけやすくなるかも」という意見がありました。特に個人宅にお願いするには、在宅時間やどういった方が住んでいるか分からないために、選定する上でとても参考になる話だと感じました。設置者の方からもこういった意見がありました。「こういった機会をもっと増やしてもらい、学校、PTA、地域の連携を深めていきたい」「地域内の防犯にも役立つので、積極的に取り入れて協力したい」。以上のような声が上がっていました。

(5)広報紙の作成、配布。あと、地域の方たちから私達の活動に対して、理解と協力を得るために、広報紙を配布しています。「カモンくんをさがせ」を実施して児童・保護者が感じた生の声などを広報紙にまとめ、約 1000 部作成して学区内の世帯に配布しています。手前味噌な話で大変申し訳ないのですが、こういった活動を続け

☆ 「カモンくんをさがせ」の自由意見 ☆
— 児童の声 —

- ・通学路にたくさんあって通学班長としてみんなを安全な場所に連れていけるので安心した (6年)
- ・おさんぽみたいで楽しかった。カモンくんがいろいろなところにいるとおもった (2年)
- ・つかれたけど、みつけたときはうれしくなった (1年)
- ・公園の周りに少なかったので、遊ぶときは気を付けようと思った (4年)

6 課題の解決に向けた取組方策
(4) 合同研修会の開催



「こども110番連絡所」設置者にその役割を再認識していただくためと、私たちが取組む「こども110番連絡所」の推進活動への理解と協力を得るために、設置者の方たちとの合同研修会を開催しました。

研修会には警察署の職員の方に来ていただき、「こども110番連絡所」について分かりやすく説明していただきました。あわせて設置者の方々との意見交換会も行いました。

6 課題の解決に向けた取組方策
(4) 合同研修会の開催

☆合同研修会を通して☆

- ・設置者の方から、新規設置者を探す際は、町内会にも話をしてもらおうと個人宅の動向などもつかめて、見つけやすくなるかもという意見がありました。

特に個人宅にお願いするには、在宅時間やどういった方が住んでいるのか分からない為、選定する上でとても参考になる話だと感じました。

てきた中で、昨年末に天童警察署から、この PTA 事業に関して感謝状をいただいております。誠にありがとうございます。

6 課題の解決に向けた取組方策
 (5) 広報紙の作成、配布
 地域の方たちから、私たちの活動に対して理解と協力を得るために、広報紙を作成し配布しています。



「カモンくんをさがせ」を実施して、児童、保護者が感じた生の声などを広報紙にまとめ、約1,000部作成し学区内の世帯に配布しています。

6 課題の解決に向けた取組方策
 (5) 広報紙の作成、配布
 地域の方たちから、私たちの活動に対して理解と協力を得るために、広報紙を作成し配布しています。



様々な活動を続けてきた結果、昨年末に天童警察署より、このPTA事業に関して感謝状をいただきました。

以上のような取組を行った結果、保護者の「こども110番連絡所」に対する認知度、理解度がかなり向上している部分がありました。まず、「こども110番連絡所」の設置数の増加です。平成28年度の開始時に約110か所。ただ、この110か所に関しては、先ほども少し話した部分で、親の世代から子の世代に引き継がれたけれども、実際この時間帯はうちには誰もいないとか、企業さんなどだと、移動したとか廃業されて、全く管理されていない部分を含めての110か所という数です。こちらの数が、平成31年度3月末時点で150か所まで増加しました。

6 課題の解決に向けた取組方策
 以上のような取組を行った結果、保護者と子供の「こども110番連絡所」に対する認知度、理解度が向上したほか、地域との連携も図られて、安心感の醸成（不安感の改善）にもつながっています。

「こども110番連絡所」の設置数の増大

平成28年度（開始時）	→	平成31年3月末
約110箇所		150箇所

先ほどの「カモンくんをさがせ」の集計結果ですが、「心配レベル」の割合です。一つも見つけられなかったと先ほど出ていた部分があったかと思いますが、向かって左側が平成28年度に統計を取った部分です。青の部分が通学路16.7%、緑が家の近所で17.3%、公園などが33.3%でした。右側が平成30年度のもので、通学路が16.7%から6.4%、家の近所が17.3%から10.7%、公園などが33.3%から23.8%という形で「心配」の割合がかなり減少しています。実質のトータルの平均値は、平成28年度開始時に「心配レベル」が22.4%だったものが、31年度3月末には13.6%に減少し、大幅な認知数の向上につながっています。

6 課題の解決に向けた取組方策
 以上のような取組を行った結果、保護者と子供の「こども110番連絡所」に対する認知度、理解度が向上したほか、地域との連携も図られて、安心感の醸成（不安感の改善）にもつながっています。

「カモンくんをさがせ」の集計結果
 ☆レベル心配の割合数☆

項目	平成28年度	平成30年度
通学路	16.7%	6.4%
家の近所	17.3%	10.7%
公園など	33.3%	23.8%

6 課題の解決に向けた取組方策
 以上のような取組を行った結果、保護者と子供の「こども110番連絡所」に対する認知度、理解度が向上したほか、地域との連携も図られて、安心感の醸成（不安感の改善）にもつながっています。

「カモンくんをさがせ」の集計結果
 ☆レベル心配の割合数（平均値）☆

平成28年度（開始時）	→	平成31年3月末
22.4%		13.6%

終わりに、「こども110番連絡所」事業に関しては、数年前まで活動主体が明確でないために、全く機能しておらず、長い間放置された状態となっていました。それが4

年前から PTA 活動の一環として動き出しまして、いろいろな課題を解決して現在の形になってきました。ただ、一方で PTA という組織上、役員は毎年改選のために、その年の役員の裁量次第で活動内容が不安定になりやすいという一面も出てきました。事業継続を第一として取り組んでいくことも大切ですが、革新的な事業に取り組んでいく意識を次の役員へ引き継いでいく体制づくりも必要と感じています。

子供たちを取り巻く環境を整えるために、地域の方と連携、協力して犯罪のない安全・安心な街づくりをしていきたいと思います。以上で発表を終わります。ありがとうございました。

おわりに

「こども110番連絡所」事業に関しては、数年前まで活動主体が明確でないため、まったく機能しておらず、長い間放置された状態になっていました。それが4年前にあることがきっかけで PTA 活動の一環として動き出し、いろいろな課題を解決して現在の形になってきました。

一方で、PTA という組織上役員が毎年改選のため、その年の役員の裁量次第で活動内容が不安定になりやすいという一面も出てきました。

事業継続第一として、取り組んでいく事も大切ですが、革新的に事業に取り組んでいく意識を次の役員へ引き継いでいく体制づくりも必要と感じています。

こどもたちを取り巻く環境を整えるために、地域の方と連携・協力して、犯罪のない安全安心な街づくりをしていきたいと思います。